

宗教学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	開講曜日・講時	平成30年度以前入学 者 読替先授業科目
宗教学概論	Religious studies in Japan	2	問芝 志保	4	後期金曜日2講時	
宗教学概論	Religion and Modern Society	2	木村 敏明	3	前期金曜日2講時	
宗教学基礎講読	Basic study of Folk religion	2	阿部 友紀	4	後期火曜日2講時	
宗教学基礎講読	Possibility of religious social group "KO" research	2	阿部 友紀	3	前期金曜日3講時	
宗教学基礎演習	How to study religions: presentation and discussion class	2	木村 敏明, 高橋 原, 谷山 洋三, 大村 哲夫	3	前期金曜日5講時	
宗教学基礎演習	How to study religions: presentation and discussion class	2	木村 敏明, 高橋 原, 谷山 洋三, 大村 哲夫	4	後期金曜日5講時	
宗教学基礎実習	How to research religions: from planning to fieldwork	2	木村 敏明, 谷山 洋三, 問芝 志保, 阿部 友紀	3	前期月曜日4講時, 前期 月曜日 5講時	
宗教学基礎実習	How to research religions: from planning to fieldwork	2	木村 敏明, 谷山 洋三, 問芝 志保, 阿部 友紀	4	後期月曜日4講時, 後期 月曜日 5講時	
宗教学各論	Disaster and Religion	2	木村 敏明	6	後期火曜日3講時	
宗教学各論	Ancestor Worship and Grave System in Japan	2	問芝 志保	5	前期火曜日3講時	
宗教学各論	Rethinking the World History of Religions	2	藤原 聖子	集中	集中講義	
宗教学講読	A study of ghostlore in America	2	ANDREWS DALE	5	前期火曜日4講時	
宗教学講読	A study of ghostlore in America	2	ANDREWS DALE	6	後期火曜日4講時	
宗教学演習	How to study religions: presentation and discussion class	2	木村 敏明, 文学研究科教官, 高橋 原, 谷山 洋三, 大村 哲夫	5	前期金曜日5講時	
宗教学演習	How to study religions: presentation and discussion class		木村 敏明, 文学研究科教官, 高橋 原, 谷山 洋三, 大村 哲夫	6	後期金曜日5講時	
宗教学実習	How to research religions: from planning to fieldwork	2	木村 敏明, 谷山 洋三, 問芝 志保, 阿部 友紀	5	前期月曜日4講時, 前期 月曜日 5講時	
宗教学実習	How to research religions: from planning to fieldwork	2	木村 敏明, 谷山 洋三, 問芝 志保, 阿部 友紀	6	後期月曜日4講時, 後期 月曜日 5講時	
死生学各論	Some Topics on Death Studies	2	高橋 原	5	前期水曜日3講時	宗教学各論
死生学各論	Spirituality and Psychology of Religion	2	高橋 原	6	後期水曜日3講時	宗教学各論
死生学各論	Cultivating Wisdom of Mortal Human Life	2	竹之内 裕文	6	後期集中 その他 連講	宗教学各論
実践宗教学各論	Spiritual Care	2	谷山 洋三	5	前期金曜日4講時	宗教学各論

宗教学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 semester	開講曜日・講時	平成30年度以前入学 者 読替先授業科目
実践宗教学各論	Religious Care	2	谷山 洋三	6	後期金曜日4講時	宗教学各論

科目名：宗教学概論／ Science of Religions (General Lecture)

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

Semester：4 単位数：2

担当教員：問芝 志保

コード：LB45203, 科目ナンバリング：LHM-RES201J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：日本の宗教学
2. Course Title (授業題目)：Religious studies in Japan
3. 授業の目的と概要：日本の宗教学・宗教社会学の歴史と学説・理論の展開を、日本社会における宗教現象の変容過程と関わらせながら論じる。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：religion in Japan, relating them to the process of transformation of religious phenomena in Japanese society.
5. 学修の到達目標：宗教学・宗教社会学の基本概念を学ぶ。日本人・日本社会にとって宗教とは何かという問題を考察する視点を養う。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will learn about the history of religious studies in Japan and its basic terms, and develop a perspective on what religion means for Japanese.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - (1) イントロダクション
 - (2) 日本における宗教学の創始1 姉崎正治の宗教学
 - (3) 日本における宗教学の創始2 大学と宗教・宗教学
 - (4) 帝国の拡大と宗教学
 - (5) 戦後における宗教学の展開1 岸本英夫
 - (6) 戦後における宗教学の展開2 社会科学的視点の導入
 - (7) 日本民俗学との接点1 柳田國男
 - (8) 日本民俗学との接点2 宗教民俗学
 - (9) 小括
 - (10) 社会学における宗教社会学1 有賀喜左衛門
 - (11) 社会学における宗教社会学2 森岡清美
 - (12) 1970年代以降の宗教学1 伝統宗教の研究
 - (13) 1970年代以降の宗教学2 新宗教の研究
 - (14) 21世紀の宗教学
 - (15) まとめ
8. 成績評価方法：

毎回提出のミニットペーパーの内容と、期末レポートによる。
9. 教科書および参考書：

教科書は特に指定しない。参考書は授業中に指示する。
10. 授業時間外学習：配布資料を熟読し、わからない事項があった場合は事典等で調べる。

授業内で提示された参考書に目を通し、理解を深める。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：宗教学概論／ Science of Religions (General Lecture)

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：木村 敏明

コード：LB35204, 科目ナンバリング：LHM-RES201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教と現代社会

2. Course Title (授業題目)：Religion and Modern Society

3. 授業の目的と概要：この授業では、現代社会における宗教の諸相を具体的事例をとりあげつつ宗教学的視点から論じ、その意義や課題を明らかにしていく。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course will explore the various aspects of religion in modern society from the perspective of religious studies to help students understand the meanings and tasks of religion in modern world.

5. 学修の到達目標：現代社会において宗教が持つ意義や課題について理解できる。

宗教学的視点から現代社会の諸問題について考えることができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students learn about the meanings and tasks of religions in modern world.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
2. . 宗教を定義／脱定義する 聖なるもの
3. 宗教を定義／脱定義する 儀礼
4. 宗教を定義／脱定義する 宗教集団
5. 小括
6. 現代宗教の基礎理論 世俗化
7. 現代宗教の基礎理論 公共宗教
8. 現代宗教の基礎理論 民間信仰
9. 小括
10. 宗教と政治
11. 宗教と経済
12. 宗教と教育
13. 宗教と移民
14. 宗教と科学
15. まとめ

8. 成績評価方法：

毎回の授業後に提出する小レポート[40%]、期末のレポート[60%]

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書は授業中に指示するが全体的なものとしては『よくわかる宗教学』（櫻井義秀・平藤喜久子編、ミネルヴァ書房、2015 年）をあげておく。

10. 授業時間外学習：日ごろから新聞等で宗教関連の情報を収集し、小レポートに反映させる。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：宗教学基礎講読／ Science of Religions (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 火曜日 2講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：阿部 友紀

コード：LB42204, 科目ナンバリング：LHM-RES202J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：民俗宗教の基礎

2. Course Title (授業題目)：Basic study of Folk religion

3. 授業の目的と概要：日本における民俗宗教の基礎的な用語や事例について学習する。日本では仏教、神道や巫俗などの多様な信仰を基礎として民俗宗教が形成されてきた。本講義では民俗宗教に関連する用語・概念について、具体的事例を念頭にしつつ議論する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this courses, learn it about a basic term and example of the folk religion in Japan.

5. 学修の到達目標：日本の宗教文化を理解する上での概念を理解し、議論できる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：understand and can discuss a concept on understanding Japanese religion culture.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

五来重・桜井徳太郎・大島建彦・宮田登編（1979）『講座 日本の民俗宗教』弘文堂、第1巻『神道民俗学』、第2巻『仏教民俗学』、第3巻『神観念と民俗』、第4巻『巫俗と俗信』の各巻所収の論文から担当者が各1本選択し、レジュメを作成してディスカッションを行う。

1. はじめに 講義の進行について
2. 論文1
3. 論文2
4. 論文3
5. 論文4
6. 論文5
7. 論文6
8. 論文7
9. 論文8
10. 論文9
11. 論文10
12. 論文11
13. 論文12
14. おわりに 民俗宗教の理解
15. 予備日

8. 成績評価方法：

学期末レポート（講義内容に関連のあるテーマを自由に設定し論じる。80%）および毎回のレスポンスシート（出席確認を兼ねる。および授業参加度。20%）により評価する。

9. 教科書および参考書：

五来重・桜井徳太郎・大島建彦・宮田登編（1979）『講座 日本の民俗宗教』弘文堂、第1巻『神道民俗学』、第2巻『仏教民俗学』、第3巻『神観念と民俗』、第4巻『巫俗と俗信』所収の論文をテキストとする。

補足資料は授業時に提示する。

10. 授業時間外学習：レジュメ、レポート作成に向けて文献調査・資料の読み込みを行うこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

なし

科目名：宗教学基礎講読／ Science of Religions (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 金曜日 3講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：阿部 友紀

コード：LB35302, 科目ナンバリング：LHM-RES202J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：「講」研究の可能性

2. Course Title (授業題目)：Possibility of religious social group “Ko” research

3. 授業の目的と概要：この講義では、信仰的な社会集団である“講”を事例に、人々の繋がりと宗教がどのように結びついて
いるか、議論する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In this lecture, we will discuss how people’s connections
and belief are connected, using the case of “Ko”, a religious social group.

5. 学修の到達目標：受講生は、信仰的な講集団の概要を理解する。特に人々と信仰との繋がりが、どのような社会集団を形成
するか理解することができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will get an overview of the religious social group. In particular, we
can understand what kind of social group the connection between people and belief forms.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

長谷部八朗監修 講研究会編集委員会編 (2022)『人のつながりの歴史・民俗・宗教—「講」の文化論—』八千代出版をテキスト
とし、担当者は各章および提示する補足資料のレジュメを作成・発表する。参加者はそのレジュメを元に議論を進める。

1. はじめに 講とは何か？
2. 地域を支える講集団
3. 女性のつきあい
4. 助け合いの組織
5. 村落構造と「講」
6. 講集団の存続と再編
7. 布教を支える集団
8. 寺社の活動と代参
9. 寺社の活動と代参
10. 「在俗」の宗教者
11. 生業の信仰と「講」の位置づけ
12. 芸能をめぐる講
13. 旅の文化の形成と展開
14. 「講」を迎える人びと
15. 予備日

8. 成績評価方法：

学期末レポート（講義内容に関連のあるテーマを自由に設定し論じる。80%）および毎回のレスポンスシート（出席確認を兼ねる。および授業参加度。20%）により評価する。

9. 教科書および参考書：

長谷部八朗監修 講研究会編集委員会編 (2022)『人のつながりの歴史・民俗・宗教—「講」の文化論—』八千代出版をテキストとする。講義時まで準備しておくこと。

補足資料は授業時に提示する。

10. 授業時間外学習：レジュメ、レポート作成に向けて文献調査・資料の読み込みを行うこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

ディスカッションへの積極的な参加を期待します。

科目名：宗教学基礎演習／ Science of Religions (Introductory Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 5 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：木村 敏明・高橋 原・谷山 洋三・大村 哲夫

コード：LB35502, 科目ナンバリング：LHM-RES203J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学研究の技法
2. Course Title (授業題目)：How to study religions: presentation and discussion class
3. 授業の目的と概要：毎回複数の受講生が研究発表を行い、その内容をめぐって参加者全員が検討し議論をすることで、自らの問題関心を聴衆に理解されるように発表する力、他者の研究発表を正確かつ批判的に聞く力、異なった見解を持った者で議論をする力を涵養することを目指す。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The aim of this course is to help students acquire the necessary skills to present the result of their study, to hear and understand them precisely and to discuss about them logically. In every class, students will make discussions on the presentations done by 2-3 students in turn.
5. 学修の到達目標：宗教学研究のために必要な知識と技法を習得することができる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will gain abundant knowledge and skills required in religious studies.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
 1. インTRODククション：授業の狙いおよび進め方
 2. 学部3年発表 1グループ
 3. 学部3年発表 2グループ
 4. 学部3年発表 3グループ
 5. 学部3年発表 4グループ
 6. 学部3年発表 5グループ
 7. 学部3年発表 6グループ
 8. 予備日：学部3年欠席者のため
 9. 学部4年発表 グループ1
 10. 学部4年発表 グループ2
 11. 学部4年発表 グループ3
 12. 学部4年発表 グループ4
 13. 学部4年発表 グループ5
 14. 学部4年発表 グループ6
 15. 予備日：学部4年欠席者のため
8. 成績評価方法：

発表および討論への参加
9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.
10. 授業時間外学習：発表準備。

Preparation for presentation

 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし

科目名：宗教学基礎演習／ Science of Religions (Introductory Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 5 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：木村 敏明・高橋 原・谷山 洋三・大村 哲夫

コード：LB45502, 科目ナンバリング：LHM-RES203J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教研究の技法
2. Course Title (授業題目)：How to study religions: presentation and discussion class
3. 授業の目的と概要：毎回複数の受講生が研究発表を行い、その内容をめぐって参加者全員が検討し議論をすることで、自らの問題関心を聴衆に理解されるように発表する力、他者の研究発表を正確かつ批判的に聞く力、異なった見解を持った者で議論をする力を涵養することを目指す。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The aim of this course is to help students acquire the necessary skills to present the result of their study, to hear and understand them precisely and to discuss about them logically. In every class, students will make discussions on the presentations done by 2-3 students in turn.
5. 学修の到達目標：宗教研究のために必要な知識と技法を習得することができる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will gain abundant knowledge and skills required in religious studies.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
 1. インTRODククション：授業の狙いおよび進め方
 2. 学部3年発表 グループ1
 3. 学部3年発表 グループ2
 4. 学部3年発表 グループ3
 5. 学部3年発表 グループ4
 6. 学部3年発表 グループ5
 7. 予備日：学部3年欠席者のため
 8. 学部4年発表 グループ1
 9. 学部4年発表 グループ2
 10. 学部4年発表 グループ3
 11. 学部4年発表 グループ4
 12. 学部4年発表 グループ5
 13. 予備日：学部4年欠席者のため
 14. 学部2年発表 グループ1
 15. 学部2年発表 グループ2
8. 成績評価方法：

発表および討論への参加。
9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.
10. 授業時間外学習：発表準備。

Preparation for presentation

 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし

科目名：宗教学基礎実習／ Science of Religions (Introductory Seminar)

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：木村 敏明. 谷山 洋三. 間芝 志保. 阿部 友紀

コード：LB31405, 科目ナンバリング：LHM-RES204J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学調査法

2. Course Title (授業題目)：How to research religions: from planning to fieldwork

3. 授業の目的と概要：他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必須である。本授業では、宗教調査の方法とスキルについて講義を通して学習し、夏季におこなう共同調査に向けて調査計画の立案を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.

5. 学修の到達目標：(1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
(2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
2. 第一回：宗教学におけるデータとは
3. 第二回：参与観察法
4. 第三回：インタビュー調査法
5. 第四回：質問紙調査法
6. 第五回：文献調査法・情報検索法
7. 第六回：映像記録法① 写真撮影の基本
8. 第七回：映像記録法② ビデオ撮影の基本
9. 第八回：映像記録法③ 写真撮影実習
10. 第九回：調査と研究の倫理
11. 第十回：現地調査計画の立案
12. 第十一回：現地調査準備① 地域について知る
13. 第十二回：現地調査準備② 先行研究をまとめる
14. 第十三回：現地調査準備③ 質問項目を考える
15. 第十四回：まとめ、調査の最終チェック

8. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：授業中に指示された課題、準備。夏季に実施される現地調査への参加。

Students are required to prepare for class assignments and attend to Summer Semester Research.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：宗教学基礎実習／ Science of Religions (Introductory Seminar)

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時、後期 月曜日 5 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：木村 敏明、谷山 洋三、間芝 志保、阿部 友紀

コード：LB41407, 科目ナンバリング：LHM-RES204J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学調査法

2. Course Title (授業題目)：How to research religions: from planning to fieldwork

3. 授業の目的と概要：他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必要である。本授業では、夏季に行われた宗教調査をもとにしてそのまとめ作業をおこなう。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.

5. 学修の到達目標：(1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
(2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション 後期授業の概要
2. 第一回、調査のまとめ①
3. 第二回、調査のまとめ②
4. 第三回、調査のまとめ③
5. 第四回、調査のまとめ④
6. 第五回、調査のまとめ⑤
7. 第六回、調査のまとめ⑥
8. 第七回、中間発表
9. 第八回、動画編集①
10. 第九回、動画編集②
11. 第十回、動画編集③
12. 第十一回、動画編集④
13. 第十二回、動画編集⑤
14. 第十三回、成果発表
15. 第十四回、総括と反省

8. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：授業中に指示された課題、準備。

Students are required to prepare for class assignments.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：宗教学各論／ Science of Religions (Special Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 3講時

Semester：6 単位数：2

担当教員：木村 敏明

コード：LB62303, 科目ナンバリング：LHM-RES301J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：災害と宗教

2. Course Title (授業題目) : Disaster and Religion

3. 授業の目的と概要：突然にやってきて人々の日常生活の基盤を突き崩してしまう自然災害。被災者たちや周囲の人々が災害を受け止め、生活を立て直す中で、宗教はいかなる役割を果たしてきたのか。この授業では自然災害をめぐる宗教的観念、儀礼的实践に関する先行研究を毎回取り上げながら、現代社会における宗教の意義や課題について議論を行うことで問題の理解を深める。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : This course explores various previous studies on disaster and religion and discusses meanings and tasks of religion in modern society.

5. 学修の到達目標：宗教学的なものの見方をみにつけることができる。

現代社会における宗教の意義や課題について具体的な事例を通して理解できる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students understand meanings and tasks of religion in modern society through the topic about religion and disaster.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション1:何故災害と宗教か?
2. イントロダクション2:発表準備
3. 災害と神話
4. 災害と神話
5. 災害表象
6. 災害表象
7. 災害と祭礼
8. 災害と祭礼
9. 災害と死者
10. 災害と死者
11. 宗教と災害支援
12. 宗教と災害支援
13. 宗教とレジリエンス
14. 宗教とレジリエンス
15. まとめ

8. 成績評価方法：

毎回の授業後提出の小レポート{40%}、期末レポート[60%]

9. 教科書および参考書：

教科書は用いない。参考書は授業中に指示する。

10. 授業時間外学習：新聞や読書などで普段からトピックに関連した情報を収集するようにつとめ、授業後の小レポートに反映させる。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：宗教学各論／ Science of Religions (Special Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 3講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：問芝 志保

コード：LB52303, 科目ナンバリング：LHM-RES301J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：先祖祭祀と葬送墓制
2. Course Title (授業題目)：Ancestor Worship and Grave System in Japan
3. 授業の目的と概要：日本の先祖祭祀・葬送墓制を対象とした主要な論文を講読することとおして、①研究史の概要、②葬送墓制の多様な事例、③近現代における先祖祭祀・葬送墓制の変容や展開について考察し、議論を深める。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：By subscribing to major articles on Ancestor Worship and Grave System in Japan, we will discuss (1) the outline of research history, (2) various cases of funeral grave systems, and (3) the transformation and development of ancestor worship (ancestral rituals) and funeral grave systems in modern and contemporary times.
5. 学修の到達目標：宗教学・宗教社会学の基礎的な枠組みを身につける。また、「社会変動と宗教／民間信仰」という問題をとらえるための視座を養う。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will learn about a basic framework for the study of religion and the sociology of religion and develop a perspective on the issue of "social change and religion/folk beliefs.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - (1)イントロダクション
 - (2)概説1 日本の先祖祭祀
 - (3)概説2 日本の葬送墓制
 - (4)先祖と家1 二重の先祖
 - (5)先祖と家2 家族国家観
 - (6)墓の民俗1 固有信仰論
 - (7)墓の民俗2 両墓制
 - (8)墓の近代化1 土葬と火葬
 - (9)墓の近代化2 都市の霊園
 - (10)墓の現在1 家族変動と墓
 - (11)墓の現在2 市民運動と墓
 - (12)墓の現在3 終活市場
 - (13)墓の現在4 無縁墓
 - (14)ディスカッション
 - (15)まとめ

事前に配布資料を熟読してくること。
8. 成績評価方法：

毎回提出のミニットペーパーの内容と、期末レポートによる。
9. 教科書および参考書：

教科書は特に指定しない。参考書は授業中に指示する。
10. 授業時間外学習：配布資料を熟読し、わからない事項があった場合は事典等で調べておく。

授業内で提示された参考書に目を通し、理解を深める。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：宗教学各論／ Science of Religions (Special Lecture)

曜日・講時：前期集中 その他 連講

セメスター：集中 単位数：2

担当教員：藤原 聖子

コード：LB98817, 科目ナンバリング：LHM-RES301J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：世界宗教史再考

2. Course Title (授業題目)：Rethinking the World History of Religions

3. 授業の目的と概要：「世界宗教史」や「世界の宗教」をテーマにした教養書は数多く出版されているが、その多くはプロテスタントを頂点とする近代化論のマスターナラティブを下敷きに行われている。歴史記述の見直しはさまざまな分野で行われているが、世界宗教史を更新するには、個々の史実の修正だけでなく、このマスターナラティブの見直しが必要である。この授業では、従来の世界宗教史の問題点を把握した上で、どのような新たな語り方が可能であり妥当であるのかを考える。

担当教員がこの問題の存在に気づいたのは、学校教科書で宗教がどのように描かれているかにつ

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course critically examines popular discourses on religions in the world and thereby presents a new way to describe the world history of religions. It draws on the recent critique of the "World Religions paradigm" by T. Masuzawa, C. Cotter & D. Robertson as well as some notable collaborations among international scholars to write the Global History of Humanity (See, for example, a new project initiated by the CIPSH, International Council for Philosophy and Humanistic Studies). It has developed from the lecturer's own research on school textbooks used in 10 different countries (Japan, South Korea, the Philippines, Indonesia, Thailand, Turkey, Germany, France, the UK, the US). It also tackles the question what has been shaping religious "extremism" in a variety of historical contexts.

5. 学修の到達目標：持続的で応用可能な宗教リテラシーを身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will acquire advanced religious literacy by being engaged in reading school textbooks used in Japan and some other countries in light of critical points presented in the lecture.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. インTRODakションーWorld Religions Approach を内側から克服するー

2. 古代宗教・原始宗教・未開宗教は皆同じか

3. 「軸の時代」論はなぜ支持されてきたか

4. 比較の視点から見たユダヤ教史の問題

5. 比較の視点から見たキリスト教史の問題①

6. 比較の視点から見たキリスト教史の問題②

7. 資料の分析

8. 比較の視点から見たイスラム史の問題①

9. 比較の視点から見たイスラム史の問題②

10. 比較の視点から見たインド宗教史の問題

11. 資料の分析

12. 比較の視点から見た仏教史の問題①

13. 比較の視点から見た仏教史の問題②

14. まとめ

15. 試験

8. 成績評価方法：

7・11・15回の課題と試験：80% 授業への参加度（発言、ディスカッションへの参加など）：20%

9. 教科書および参考書：

参考書：藤原聖子『教科書の中の宗教』岩波新書；増澤知子『世界宗教の発明』みすず書房 (T. Masuzawa, The Invention Of World Religions: Or, How European Universalism Was Preserved In The Language Of Pluralism, U of Chicago Press, 2005)；山川出版社「宗教の世界史」シリーズ；C. Cotter and D. Robertson eds. After World Re

10. 授業時間外学習：特になし

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

授業内に読むものはプリント（当日）とデータ（事前）により配布する。

科目名：宗教学講読／ Science of Religions (Reading)

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：ANDREWS DALE

コード：LB52309, 科目ナンバリング：LHM-RES303E, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：A study of ghostlore in America
2. Course Title (授業題目)：A study of ghostlore in America
3. 授業の目的と概要：In this class we will examine various examples of folk belief in America, with a particular focus on ghost stories, known as "ghostlore." We will read English language texts written on the subject of ghosts and the supernatural. In this class, we will stu
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In this class we will examine various examples of folk belief in America, with a particular focus on ghost stories, known as "ghostlore." We will read English language texts written on the subject of ghosts and the supernatural. In this class, we will study one aspect of American folk belief, but it is hoped that students will gain greater insight into contemporary American society, and be challenged to re-examine through the critical lens of folklore studies their own culture's folk beliefs regarding supernatural phenomenon.
5. 学修の到達目標：After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to identify ghostlor
6. Learning Goals (学修の到達目標)：After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to identify ghostlor
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1 回目
 - 【事前学修】Peruse the textbook.
 - 【授業内容】Class Guidance.
 - 【事後学修】Review your notes from the Class Guidance. Formulate any questions you might have regarding attendance and evaluation.
 - 2 回目
 - 【事前学修】Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
 - 【授業内容】Discussion of the text and/or presentations.
 - 【事後学修】Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 3 回目
 - 【事前学修】Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
 - 【授業内容】Discussion of the text and/or presentations.
 - 【事後学修】Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 4 回目
 - 【事前学修】Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
 - 【授業内容】Discussion of the text and/or presentations.
 - 【事後学修】Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 5 回目
 - 【事前学修】Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
 - 【授業内容】Discussion of the text and/or presentations.
 - 【事後学修】Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 6 回目
 - 【事前学修】Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
 - 【授業内容】Discussion of the text and/or presentations.
 - 【事後学修】Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 7 回目
 - 【事前学修】Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
 - 【授業内容】Discussion of the text and/or presentations.
 - 【事後学修】Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

8 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

9 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

10 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

11 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

12 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

13 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

14 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

15 回目

【事前学修】 Review what you have learned this semester. Study for the test.

【授業内容】 Test. Followed by a review discussion.

【事後学修】 On your own, attempt to answer any remaining questions that you may have.

8. 成績評価方法：

Written assignments 50%; In-class discussion & activities 30%; Test 20%.

Specific evaluation criteria will be explained in class.

9. 教科書および参考書：

Reference texts: "Haunted Halls: Ghostlore of American College Campuses" (University Press of Mississippi, 2007);

"Haunting Experiences: Ghost in Contemporary Folklore" (Utah State University Press, 2007)

10. 授業時間外学習：3 to 5 hours per week of out of class study is required.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

An English/Japanese dictionary is necessary. 3 to 5 hours per week of out of class study is required. The instructor will be available before and after class for questions and consultation.

科目名：宗教学講読／ Science of Religions (Reading)

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：ANDREWS DALE

コード：LB62310, 科目ナンバリング：LHM-RES303E, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：A study of ghostlore in America
2. Course Title (授業題目)：A study of ghostlore in America
3. 授業の目的と概要：In this class we will examine various examples of folk belief in America, with a particular focus on ghost stories, known as "ghostlore." We will read English language texts written on the subject of ghosts and the supernatural. In this class, we will stu
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In this class we will examine various examples of folk belief in America, with a particular focus on ghost stories, known as "ghostlore." We will read English language texts written on the subject of ghosts and the supernatural. In this class, we will study one aspect of American folk belief, but it is hoped that students will gain greater insight into contemporary American society, and be challenged to re-examine through the critical lens of folklore studies their own culture's folk beliefs regarding supernatural phenomenon.
5. 学修の到達目標：After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to identify ghostlor
6. Learning Goals (学修の到達目標)：After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to identify ghostlor
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1 回目
 - 【事前学修】 Peruse the textbook.
 - 【授業内容】 Class Guidance.
 - 【事後学修】 Review your notes from the Class Guidance. Formulate any questions you might have regarding attendance and evaluation.
 - 2 回目
 - 【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
 - 【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
 - 【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 3 回目
 - 【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
 - 【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
 - 【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 4 回目
 - 【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
 - 【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
 - 【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 5 回目
 - 【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
 - 【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
 - 【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 6 回目
 - 【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
 - 【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
 - 【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 7 回目
 - 【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
 - 【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
 - 【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

8 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

9 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

10 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

11 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

12 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

13 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

14 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

15 回目

【事前学修】 Review what you have learned this semester. Study for the test.

【授業内容】 Test. Followed by a review discussion.

【事後学修】 On your own, attempt to answer any remaining questions that you may have.

8. 成績評価方法：

Written assignments 50%; In-class discussion & activities 30%; Test 20%.

Specific evaluation criteria will be explained in class.

9. 教科書および参考書：

Reference texts: "Haunted Halls: Ghostlore of American College Campuses" (University Press of Mississippi, 2007);

"Haunting Experiences: Ghost in Contemporary Folklore" (Utah State University Press, 2007)

10. 授業時間外学習：3 to 5 hours per week of out of class study is required.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

An English/Japanese dictionary is necessary. 3 to 5 hours per week of out of class study is required. The instructor will be available before and after class for questions and consultation.

科目名：宗教学演習／ Science of Religions (Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 5 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：木村 敏明. 文学研究科教官. 高橋 原. 谷山 洋三. 大村 哲夫

コード：LB55503, 科目ナンバリング：LHM-RES304J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教研究の技法
2. Course Title (授業題目)：How to study religions: presentation and discussion class
3. 授業の目的と概要：毎回複数の受講生が研究発表を行い、その内容をめぐって参加者全員が検討し議論をすることで、自らの問題関心を聴衆に理解されるように発表する力、他者の研究発表を正確かつ批判的に聞く力、異なった見解を持った者で議論をする力を涵養することを目指す。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The aim of this course is to help students acquire the necessary skills to present the result of their study, to hear and understand them precisely and to discuss about them logically. In every class, students will make discussions on the presentations done by 2-3 students in turn.
5. 学修の到達目標：宗教研究のために必要な知識と技法を習得することができる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will gain abundant knowledge and skills required in religious studies.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
 1. インTRODククション：授業の狙いおよび進め方
 2. 学部3年発表 グループ1
 3. 学部3年発表 グループ2
 4. 学部3年発表 グループ3
 5. 学部3年発表 グループ4
 6. 学部3年発表 グループ5
 7. 学部3年発表 グループ6
 8. 予備日：学部3年欠席者のため
 9. 学部4年発表 グループ1
 10. 学部4年発表 グループ2
 11. 学部4年発表 グループ3
 12. 学部4年発表 グループ4
 13. 学部4年発表 グループ5
 14. 学部4年発表 グループ6
 15. 予備日：学部4年欠席者のため
8. 成績評価方法：

発表および討論への参加
9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.
10. 授業時間外学習：発表準備。

Preparation for presentation

 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし

科目名：宗教学演習／ Science of Religions (Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 5 講時

セメスター：6 単位数：

担当教員：木村 敏明. 文学研究科教官. 高橋 原. 谷山 洋三. 大村 哲夫

コード：LB65502, 科目ナンバリング：LHM-RES304J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学研究の技法
2. Course Title (授業題目)：How to study religions: presentation and discussion class
3. 授業の目的と概要：毎回複数の受講生が研究発表を行い、その内容をめぐって参加者全員が検討し議論をすることで、自らの問題関心を聴衆に理解されるように発表する力、他者の研究発表を正確かつ批判的に聞く力、異なった見解を持った者で議論をする力を涵養することを目指す。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The aim of this course is to help students acquire the necessary skills to present the result of their study, to hear and understand them precisely and to discuss about them logically. In every class, students will make discussions on the presentations done by 2-3 students in turn.
5. 学修の到達目標：宗教学研究のために必要な知識と技法を習得することができる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will gain abundant knowledge and skills required in religious studies.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
 1. インTRODククション：授業の狙いおよび進め方
 2. 学部3年発表 グループ1
 3. 学部3年発表 グループ2
 4. 学部3年発表 グループ3
 5. 学部3年発表 グループ4
 6. 学部3年発表 グループ5
 7. 予備日：学部3年欠席者のため
 8. 学部4年発表 グループ1
 9. 学部4年発表 グループ2
 10. 学部4年発表 グループ3
 11. 学部4年発表 グループ4
 12. 学部4年発表 グループ5
 13. 予備日：学部4年欠席者のため
 14. 学部2年発表 グループ1
 15. 学部2年発表 グループ2
8. 成績評価方法：

発表および討論への参加。
9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.
10. 授業時間外学習：発表準備。

Preparation for presentation

 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし

科目名：宗教学実習／ Science of Religions (Field Work)

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：木村 敏明. 谷山 洋三. 間芝 志保. 阿部 友紀

コード：LB51407, 科目ナンバリング：LHM-RES306J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学調査法

2. Course Title (授業題目)：How to research religions: from planning to fieldwork

3. 授業の目的と概要：他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必須である。本授業では、宗教調査の方法とスキルについて講義を通して学習し、夏季におこなう共同調査に向けて調査計画の立案を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.

5. 学修の到達目標：(1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
(2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
2. 第一回：民間信仰の基礎 社会組織と講
3. 第二回：民間信仰の基礎 年中行事①
4. 第三回：民間信仰の基礎 年中行事②
5. 第四回：民間信仰の基礎 人生儀礼①
6. 第五回：民間信仰の基礎 人生儀礼②
7. 第六回：民間信仰の基礎 神社と寺院
8. 第七回：民間信仰の基礎 仏教と民俗
9. 第八回：民間信仰の基礎 民間信仰の現在
10. 第九回：調査と研究の倫理
11. 第十回：現地調査計画の立案
12. 第十一回：現地調査準備① 地域について知る
13. 第十二回：現地調査準備② 先行研究をまとめる
14. 第十三回：現地調査準備③ 質問項目を考える
15. 第十四回：まとめ、調査の最終チェック

8. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：授業中に指示された課題、準備。夏季に実施される現地調査への参加。

Students are required to prepare for class assignments and attend to Summer Semester Research.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：宗教学実習／ Science of Religions (Field Work)

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時、後期 月曜日 5 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：木村 敏明、谷山 洋三、間芝 志保、阿部 友紀

コード：LB61404, 科目ナンバリング：LHM-RES306J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学調査法
2. Course Title (授業題目)：How to research religions: from planning to fieldwork
3. 授業の目的と概要：他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必要である。本授業では、夏季に行われた宗教調査をもとにしてそのまとめ作業をおこなう。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.
5. 学修の到達目標：(1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
(2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. インTRODakション 後期授業の概要
 2. 第一回、調査のまとめ①
 3. 第二回、調査のまとめ②
 4. 第三回、調査のまとめ③
 5. 第四回、調査のまとめ④
 6. 第五回、調査のまとめ⑤
 7. 第六回、調査のまとめ⑥
 8. 第七回、中間発表
 9. 第八回、動画編集①
 10. 第九回、動画編集②
 11. 第十回、動画編集③
 12. 第十一回、動画編集④
 13. 第十二回、動画編集⑤
 14. 第十三回、成果発表
 15. 第十四回、総括と反省
8. 成績評価方法：
授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する
9. 教科書および参考書：
教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。
No textbook will be used. References will be introduced in the class.
10. 授業時間外学習：授業中に指示された課題、準備。
Students are required to prepare for class assignments.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：死生学各論／ Death & Life Studies (Special Lecture)

曜日・講時：前期 水曜日 3講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：高橋 原

コード：LB53304, 科目ナンバリング：LHM-RES307J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：宗教学各論】

1. 授業題目：死生学の諸問題
2. Course Title (授業題目)：Some Topics on Death Studies
3. 授業の目的と概要：死生学をめぐる諸問題について学ぶ。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Students learn what death studies is.
5. 学修の到達目標：死生学的観点から、文化の中の死について理解を深める。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students understand death in cultural contexts from the view point of death studies.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
指定テキスト（参考書）のトピックにそって、関連する話題を取り上げていく。
 - (1) 死生学とは何か
 - (2) 死生観と宗教
 - (3) 日本人の死生観
 - (4) 喪と追悼
 - (5) 死生観一国と地域の視点から
 - (6) マスメディアで死生について考える
 - (7) 「生と死」を生きる本人からの発信
 - (8) 老いと死
 - (9) 病い経験と「生」
 - (10) 遺族の喪失体験とグリーフワーク
 - (11) 自己決定権
 - (12) ターミナルケア
 - (13) 自殺予防
 - (14) 尊厳死
 - (15) まとめ
8. 成績評価方法：
毎回のミニットペーパーと期末レポートによる。
9. 教科書および参考書：
石丸昌彦『死生学入門』放送大学教育振興会 2014
10. 授業時間外学習：授業ないで指示する。
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし

科目名：死生学各論／ Death & Life Studies (Special Lecture)

曜日・講時：後期 水曜日 3講時

Semester：6 単位数：2

担当教員：高橋 原

コード：LB63305, 科目ナンバリング：LHM-RES307J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：宗教学各論】

1. 授業題目：スピリチュアリティと宗教心理
2. Course Title (授業題目)：Spirituality and Psychology of Religion
3. 授業の目的と概要：W・ジェイムズ、S・フロイト、C・G・ユング等の古典的な宗教心理学者たちの議論を踏まえて、諸事例をとりあげながら、スピリチュアリティと宗教について考える。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Students will learn about the classical theories of psychologists of religion, such as, Willam James, Sigmund Freud, or Carl Gustav Jung. This will help students understand the meaning of religion and spirituality in terms of human psyche.
5. 学修の到達目標：心理学者たちの思想的営みと基本概念を学び、危機におけるスピリチュアリティの働きを理解する。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Student will learn the thought of psychologists and basic theory of their system, in order to understand how spirituality effects human in crisis.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 第1回：イントロダクション
 - 第2回：古典的回心理解(1)
 - 第3回：古典的回心理解(2)
 - 第4回：現代人の回心体験とスピリチュアリティ(1)
 - 第5回：現代人の回心体験とスピリチュアリティ(2)
 - 第6回：ウィリアム・ジェイムズの宗教論(1) 健全な心と病める魂
 - 第7回：ウィリアム・ジェイムズの宗教論(2) 潜在意識仮説とプラグマティズム
 - 第8回：心理療法と宗教(1)
 - 第9回：心理療法と宗教(2)
 - 第10回：心理療法と宗教(3)
 - 第11回：心理療法と宗教(4)
 - 第12回：深層心理学と宗教(1)
 - 第13回：深層心理学と宗教(2)
 - 第14回：深層心理学と宗教(3)
 - 第15回：まとめ
8. 成績評価方法：

毎回提出のミニットペーパーの内容と、期末レポートによる。
9. 教科書および参考書：

特に指定しない。
10. 授業時間外学習：配布資料を熟読し、理解を深める。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
毎回授業内で課題を出すのでミニットペーパーで回答すること。

科目名：死生学各論／ Death & Life Studies (Special Lecture)

曜日・講時：後期集中 その他 連講

セメスター：6 単位数：2

担当教員：竹之内 裕文

コード：LB98833, 科目ナンバリング：LHM-RES307J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：宗教学各論】

1. 授業題目：死とともに生きることを学ぶ
2. Course Title (授業題目)：Cultivating Wisdom of Mortal Human Life
3. 授業の目的と概要：なぜ死生学という学問が誕生したのかというところから始め、終末期医療、在宅での看取りといった現代医療の問題や、大震災被災地での支援、老人介護など、超高齢多死社会といわれる現代生活の多様な局面を取り上げながら、誰もがケアの担い手になり得るという現実を理解し、それぞれの立場から人間の生と死を取り巻く諸問題にどのように対処していけばよいのかを考察する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course describes the origins and purposes of the discipline of thanatology and covers various problems and challenges faced by modern medicine, such as an increasing demand for terminal care and home health nursing. Today, we are asked to provide care and support in multiple and varied circumstances: as volunteers in the areas affected by the Great East Japan Earthquake, as elderly care workers, etc. Ultimately, any member of our super-aged, mass death society may find him- or herself in the position of a caregiver. This course aims to prepare students for this role and give each of them an opportunity to look for his or her personal way to address a range of issues related to human life and death.
5. 学修の到達目標：①対話スタイルで進められる授業を通して、対話的探究の楽しさと可能性を味わい、対話のスピリットと技法を習得する。
②テキストを読み、他の受講者や教員と対話することを通して、「死とともに生きる」自分なりの構えと知恵を身につける。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will learn the key concepts of thanatology and gain a deeper insight into present-day issues concerning life and death. Students are expected to:
 - 1) discover the joys, as well as effectiveness, of dialogic inquiry through interactive, dialogic
7. 授業の内容・方法と進度予定：

本授業では、すべての人間の共通課題である「死」と「死別」と正面から向き合い、他者とともにどのように生きるかについて、対話を通して共に探究する。授業は、1) 所定のテキストの各章(序章～終章)をめぐる9つの対話、2) 受講者とともに問いを設定する3回の死生学カフェ、3) 重度障害者の自立生活に関する動画鑑賞により構成される。

 - ・ 1) ガイダンス：講義の目的と進め方、「対話」をめぐる試行の対話
 - ・ 2) ワールドカフェ ある死別の経験から(序章)
 - ・ 3) 映画『生かされて生きる』鑑賞

 - ・ 4) テキストをめぐる対話① 重度障害者自立ホームから(第1章)
 - ・ 5) テキストをめぐる対話② 在宅緩和ケアの現場から(第2章)
 - ・ 6) テキストをめぐる対話③ 死者と共にある農村との出会い(第3章)
 - ・ 7) 死生学カフェ①

 - ・ 8) テキストをめぐる対話④ いのちに気づかって生き、死ぬ(第4章)
 - ・ 9) テキストをめぐる対話⑤ 共に生きること、本当に生きること(第5章)
 - ・ 10) テキストをめぐる対話⑥ 森と湖の国の「福祉」(第6章)
 - ・ 11) 死生学カフェ②

 - ・ 13) テキストをめぐる対話⑦ ホスピス運動の源流を辿る(第7章)
 - ・ 14) テキストをめぐる対話⑧ 死とともに生きることを学ぶ～哲学と対話(終章)
 - ・ 15) 死生学カフェ③
8. 成績評価方法：

ポイント制とします。試験やレポートはありません。

 1. テキストをめぐるワールドカフェ/対話(全9回)の準備作業として、受講者は各回の授業冒頭にフィードバックシートを提出します。すべての設問にきちんと回答して、フィードバックシートをすべて提出すると、8点満点×9回=72点のポイントを獲得します。
 2. 全体対話での発言については、これを対話的探究への寄与と位置づけ、1回あたり3点を加算します。
9. 教科書および参考書：

講義担当者の単著『死とともに生きることを学ぶ 哲学と対話』(ポラーノ出版 2019 ISBN: 978-4908765223)をテキストとして使用します。宗教学研究室にて割引価格で購入できるように手配します。

The course is based on the instructor's book:
Takenouchi Hirobumi. Shi to Tomo ni Ikiru Koto wo Manabu: Tetsugaku to taiwa (Polano Shuppan, 2019)

1 0. 授業時間外学習：講義テキストを事前に読み、序章から終章について、それぞれフィードバックシートに記入してもらいます。通常の授業より、事前の準備課題が多いように感じられるかもしれません。しかしその分、事後のレポートや試験はありません。対話＝本番という考え方を共有してください。

Students are required to read the assigned texts in advance and fill in all feedback sheets (eight in total).

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：なし

きちんと準備して臨めば、きっと楽しい授業となるでしょう。母校での対話的探究を楽しみにしています。死生学カフェと対話については次の URL を参照ください。 <https://www.facebook.com/shiseigakucafeshizuoka/>

<http://hdl.handle.net/10297/00027723>

科目名：実践宗教学各論／ Practical Religious Studies (Special Lecture)

曜日・講時：前期 金曜日 4講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：谷山 洋三

コード：LB55402, 科目ナンバリング：LHM-RES308J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：宗教学各論】

1. 授業題目：スピリチュアルケア
2. Course Title (授業題目)：Spiritual Care
3. 授業の目的と概要：国内のスピリチュアルケアの議論に触れつつ、その多様性と課題を確認した上で、臨床宗教師が誕生した背景、スピリチュアルケアと宗教的ケアの相違、両ケアの共通性としての宗教的資源の活用など、ケア実践の具体像に迫るとともに、体験的ワークにより理解を深める。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Discussing the debates on spiritual care in Japan and confirming its diversity and challenges; such as the background of the birth of Rinsho-shukyo-shi, or interfaith chaplain, the difference between spiritual care and religious care, and the utilization of religious resources as the commonality of both cares, The students will explore the specifics of care practice and deepen their understanding through a workshop.
5. 学修の到達目標：公共空間で提供されるスピリチュアルケアについて、その理念と方法を理解を深める。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students better understand spiritual care provided in public spaces and its philosophy and methods.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
オンライン授業の場合は、ライブ配信で実施する。詳細は、Google Classroom に提示する。
第1回：オリエンテーション
第2回：チャプレンとビハーラ僧
第3回：「臨床宗教師」の誕生
第4回：生活の中にある心のケア
第5回：スピリチュアルペイン
第6回：スピリチュアルな探求
第7回：「支える」「気づいてもらう」スピリチュアルケア
第8回：「新しい枠組みを作る」「無力による」スピリチュアルケア
第9回：宗教的資源の活用
第10回：宗教的ケア
第11回：臨床宗教師の可能性
第12回：臨床宗教師の資質
第13回：ワークショップ「死の体験」
第14回：ワークショップ振り返り
第15回：まとめ
8. 成績評価方法：
授業時提出の小レポート[50%]、発表・授業への取り組み[50%]
9. 教科書および参考書：
教科書：谷山洋三『医療者と宗教者のためのスピリチュアルケア』中外医学社、2016年
参考書：瀧口俊子・大村哲夫ほか編著『共に生きるスピリチュアルケア』創元社、2021年
10. 授業時間外学習：授業内で指示する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：実践宗教学各論／ Practical Religious Studies (Special Lecture)

曜日・講時：後期 金曜日 4 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：谷山 洋三

コード：LB65401, 科目ナンバリング：LHM-RES308J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：宗教学各論】

1. 授業題目：宗教的ケア
2. Course Title (授業題目) : Religious Care
3. 授業の目的と概要：「祈り」をテーマに、様々な宗教者、臨床宗教師、スピリチュアルケア師、医療従事者などの臨床の在り方について議論する。スピリチュアルケアや宗教的ケアの視点から、主として公共空間における「祈り」のケアとしての意義や、効果についても検討したい。毎回テーマに関する雑誌論文等を指定し、演習形式で授業を進める。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : We will discuss the clinical practice of various religious leaders, chaplains, spiritual care providers, and medical professionals on the theme of "prayer." From the perspective of spiritual and religious care, we will also examine the significance and effectiveness of prayer as a form of care, mainly in public spaces. The class will be conducted in a seminar format, with journal articles and other materials related to the theme assigned each time.
5. 学修の到達目標：「祈り」について、その宗教的意義と、ケアとしての意義の両方の側面から検討し、理解を深める。
6. Learning Goals(学修の到達目標) : We will examine and deepen our understanding of "prayer," both from the perspective of its religious significance and its significance as a form of care.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
オンライン授業の場合は、ライブ配信で実施する。詳細は、Google Classroom に提示する。
第1回：オリエンテーション
第2回：鍋島直樹「スピリチュアルケア 原点にかえて」
第3回：山本佳世子ら「宗教系病院における死亡した非信者患者及びその家族への宗教者によるケア」
第4回：大村哲夫「臨床宗教師ならではのケア」
第5回：深谷美枝・柴田実「キリスト教系病院チャプレンによるスピリチュアルケア実践」
第6回：小括（ケアと祈り）
第7回：中村光江「ドイツの病院施設におけるスピリチュアルケア」
第8回：菊井和子ら「仏教僧侶によるスピリチュアルケアの現状と展望」
第9回：金田伊代「ターミナルケアにおける神職の可能性」
第10回：細谷幸子「イランのスピリチュアルケアの現状」
第11回：小括（諸宗教と祈り）
第12回：奥野雅子「心理臨床家によるスピリチュアルケアの実践についての一考察」
第13回：岡部光明「『宗教的ではないがスピリチュアル (SBNR)』という思想について」
第14回：葛西賢太「自助会の先祖から学ぶ」
第15回：まとめ
8. 成績評価方法：
授業時提出の小レポート[50%]、発表・授業への取り組み[50%]
9. 教科書および参考書：
参考書：窪寺俊之『スピリチュアルケア学概説』三輪書店、2008年
谷山洋三『医療者と宗教者のためのスピリチュアルケア』中外医学社、2016年
葛西健太ほか編『ケアとしての宗教』明石書店、2013年
10. 授業時間外学習：毎回担当を決めて要約、レジュメ作成し、発表する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
実践宗教学各論 I を履修済みであることが望ましい。